

避難施設関係者連絡会実施報告書

1 実施日時 2022年7月21日(木) 14:00～15:00

2 連絡会の場所(会場) 小山小学校

3 出席者

学校 校長、副校長、生活指導主任、主幹教諭

防災課 1名

指定職員 3名

市民
中村町内会 1名
沼町内会 1名
沼団地町内会 1名
片所町内会 1名
多摩境町内会 2名
上馬場町内会 1名
小山町御嶽堂町内会 1名

4 打合せ内容

(1) 自己紹介

(2) 運営委員長選任

中村町内会に決定

※中村町内会は小山中学校の運営委員長にも該当するため町内会内部で人員を調整する可能性がある。

(3) 避難施設開設運営マニュアルの確認

前回からの変更点について確認し、各自一度持ち帰り一読し質問等あれば次回の連絡会の際に共有する。

(4) 今後の予定について

次回以降の連絡会議と、避難施設開設訓練の日程については学校の行事予定を確認した上で設定する。

避難施設開設訓練については例年2月の1週目か2週目の土曜日で実施している。

(5) 防災課からお知らせ

- ・非常用発電機について
- ・マイタイムラインセミナーの開催について
- ・児童、生徒向けの防災教育について

5 議事録(連絡会の中で出た主な意見や意見交換内容など)

(中村町内会)今回配置されたという非常用発電機について、どういう場合に住民が使用できるのか

(防災課)今回設置された非常用発電機は、体育館のLED照明と体育館備え付けの送風機を3日間動かすことを想定して設置している。合わせて体育館のコンセントにも電気が供給されるのでそこから使用することができる。発電用のLPガスについては3日間分が常備してあり4日目以降は協定を結んでいる企業から供給されることになっている。

(片所町内会)市の防災訓練と小山小学校の避難所開設訓練は別々に行うのか。

(防災課)2019年度は小山地区が市の総合防災訓練の該当地区だったため一緒に開催したが、基本的に別々に実施する。今年の市の総合防災訓練の該当地区は鶴川地区で10月16日に実施予定。

(中村町内会)避難施設開設訓練と町内会の防災訓練の違いは何か。

(防災課)避難施設開設訓練とは、一般に学校を訓練場所として、学校にある資機材を使いながら、震災時に学校を避難施設として使うことを想定した訓練である。町内会の防災訓練は、町内会ごとに訓練内容を計画して、自助、共助の促進のための訓練である。一般には、水消火器を使った初期消火や、救出救護訓練、AEDを使った訓練が挙げられる。

(中村町内会)発災した際に市の職員がすぐに小山小学校に来られるとも限らないため、初動を地域住民で対応できるようにしておかなければならない。

(沼田町内会)市内避難施設71か所あるというがこの全てにマニュアルがあるのか。それはすべて違ったものなのか。

(防災課)全ての避難施設にある。ある程度の雛形はあるが、各避難施設用にアレンジされている。

(沼田地町内会)避難施設を開設する条件はどうなっているのか。

(防災課)市内の震度計4か所の内いずれかが震度6弱以上を示した場合に開設される。それ以外にも局所的に被害が甚大な場合などに開設することもある。

(中村町内会)避難施設開設訓練に参加する人間は誰が参加するのか。

(防災課)関係者連絡会に参加している人を想定している。

(沼町内会)コロナで町内会の行事ができなくなり、防災訓練も出来ていない。新しい人も増えてきて住民の防災意識も低下してきている。できれば、避難施設開設訓練は住民も参加できるようにしたい。

(防災課)ゆくゆくはそういった形での開催ができるようになると良いが、まずは中心となる人たちが避難所開設について把握していなければならないので、この会に参加している人を対象に開催したい。

(沼町内会)風水害時は小山中学校に逃げることになるが登り坂があり、高齢者には厳しい。小山小学校は川沿いで1階は浸水するかもしれないが2階部分などを風水害時の避難施設にできないだろうか。

(防災課)現時点ではそういった考えはない。高齢者等避難の情報は、雨が強くなる前に発令する。大雨となり避難が困難になる前に避難してほしい。安全に行ける避難先に避難してほしい。避難所のあり方を考える上で、避難スペースが限られている。市では、避難スペースの確保の点で努力するので、地域の皆さまには、身を守る術や在宅避難や垂直避難も考えてほしい。

(沼町内会)小山小学校は準救護連絡所に該当しているがこれは何か。

(防災課)市内で局地的な災害が起きた際、この近くで大きな被害が発生している場合に開設する仮救護所のこと。避難施設として、予備的な位置づけにあるわけではない。

(多摩境町内会)学校の教員にも災害時に参集される担当は居るのか。

(小山小)担当の教員は居るが、住んでいるところが必ずしも近くではないので地域の方とかよりは到着は遅くなるだろう。

(多摩境町内会)まずは大枠として組織図が必要だと思う。各町内会が何を担当するかなどの組織図を作るべき。

(防災課)今後の連絡会の中で決めていきたい。

(多摩境町内会)学校が授業をしている時に発災した場合には、学校は学校の対応をすると思うが、避難所開設に使用する教室の机出しなどは協力してもらえるのか。

(小山小)避難所開設に教室を使用する想定が無い(要確認)